



国民の森林・国有林

# 広報

# かなぎ

津軽森林管理署 金木支署

No 189

2006.6.30

## 造林請負春期事業最盛期

今年度の造林請負事業である地ごしらえ、植付が最盛期を迎えています。この作業は、伐採をした跡地を整理し、スギの苗木を植付するもので、伐採～植付～保育(下刈、除伐、間伐)という林業のサイクルの重要な一部です。この後の造林請負事業は、下刈13箇所約19ha、除伐8箇所約20haを予定しています。

近年、造林請負事業においては労働災害の発生はありませんが、地ごしらえ、植付、下刈り作業は炎天下の作業であり、また、刈払機等を使用することから、比較的災害の発生頻度が高い作業なので、事業体と連携を図りつつ、無災害で今年度の事業を終えたいと考えています。



地ごしらえ後スギの苗木が植付された現場

【用語説明】地ごしらえ：植付の準備のため伐採木の枝などを整理 下刈：植付後の数年間植栽した苗木の生育を妨げる雑草などを刈払う 除伐：植栽木や有用な広葉樹の生育を阻害するその他の樹木を伐除する

## 国有林野事業安全週間

『慣れた作業に潜む危険！生かすぞ経験 無くそう過信』

7月1日から7月7日まで平成18年度の国有林野事業安全週間が実施されます。期間中当支署では、安全大会の開催や緊急連絡訓練及び救急法講習等を実施することにしており、安全管理体制の一層の充実と活性化を図り、実効ある安全活動を展開して災害のない明るい職場づくりに努めます。

## ～ ～ ～ 庁舎敷地内は樹木が花盛り ～ ～ ～

敷地内には多くの樹木がありますが、春からライラック、ハナカイドウ、ヤマナシ、ツツジ類、エゴノキ、フジ、サクラ、ツリバナ、ハクサンシャクナゲ、モクレン等が花をつけました。ピンクのエゴノキは珍しいとのことで、通行人の目を集めています。また、よく名前を聴かれるので樹名板を取り付けました。



ヤマザクラ



ライラック



エゴノキ(ピンク)

### ◆ 6月の公売結果 ◆

#### 素 材 (青森市・青森木材センター)

ヒバ丸太53口、約348m<sup>3</sup>を出材し、落札は31口、58%の結果となっています。

#### 立 木 (署入札場)

スギ外皆伐(分収育林)2箇所を1口として約1,860m<sup>3</sup>、スギ外間伐8箇所を4口として約2,150m<sup>3</sup>出材しました。皆伐については、応札1枚のみで不落札、間伐は2～4枚の応札で3口の落札となっています。

037-0202

青森県五所川原市 金木町芦野200-498

TEL(代)0173-53-3115・FAX 0173-53-3197・IP 050-3160-5875・この用紙は間伐材を使用しています(間伐材10% 古紙90%)

「広報かなぎ」はホームページでもご覧いただけます。(URL: <http://www.kanagi-kokuyurin.jp>)

## 青森ヒバの採材協議会開催される

6月9日、当支署の生産請負現場において、「適切な採材による製品価値の向上」を最大のテーマとして現地協議会が開催されました。

当日は小雨模様の中、局署関係者及び素材生産・製材業者等約60名が現地に集合し、土場へ搬入された全幹材4本をもとに、適切な採材のあり方について検討を行いました。今回の検討では、ヒバ丸太を製材し、その製品を販売している製材業界からの意見も参考に活発な意見交換が行われました

当支署では、今回の検討会を踏まえつつ請負事業者と疎通を図り、需要の動向に合った採材が行われるよう取り組んでいます。



搬入された材をグループ毎に検討

## クリーン作戦を展開 ⇒ 当支署 & 森林巡視員 & 五所川原市

6月27日、当支署のボランティア森林巡視員、五所川原市、支署等の約30人は、以前から不法投棄が絶えず、ゴミ捨て場と化していた林道沿線の四箇所を重点にゴミ収集を実施しました。

最初に、当支署長が「森林巡視員の皆様のお陰で、今年の山火事危険期も無事乗り切ることができました。また、日頃の巡視報告では貴重な情報を頂き、お礼申し上げます。管内に不法にゴミが捨てられている箇所が多々有りますが、今日は、五所川原市のご協力を得てこの場所でのクリーン作戦を実施しました。今後とも生活環境を保全するため、各市町と連携し、森林内のゴミの収集、不法投棄防止のPRを行っていきたい。」と挨拶。その後、班毎にポイントに移動、急な林道の法面は足場が悪く滑りやすく、時折の雨と汗にまみれてゴミ集めに奮闘しました。

僅かな時間でしたが、収集されたのは、洗濯機、冷蔵庫、石油ストーブなど家庭の粗大ゴミのほか、缶やガラス瓶、廃タイヤが数十本などであり、雑多な種類とその量には驚ろかされました。ゴミ処理のあり方に一人ひとりが関心を持ち、自分たちが環境を守っていくという視点に立つことが大切なのではないかと痛感させられた一日でした。



ビックリ！洗濯機・タイヤ・・・

## 管内のトピックニュース

### 文豪 太宰治生誕記念祭

太宰治がよく遊んだといわれる金木町（現五所川原市金木町）の芦野公園、支署とは目と鼻の先の位置ですが、その登仙岬にある文学碑の前で毎年生誕祭が開催されています。

今年も6月19日、「生誕97年記念祭」が太宰の長女・津島園子さんと親族のほか、関係者や多くの太宰ファンが参加して開催されました。

津島園子さんは式典での挨拶で「97回目の生誕祭が開催されましたことにお礼申し上げます。天国の太宰も喜んでいることと思います。3年後には100年を迎えることになり、私たち家族も頑張らなければと思っております。これからも市民の皆様、ファン、文学関係者の方々のご支援をよろしく願います」と話していました。

この後、地元お話サークルの女性三人が太宰作品「雀こ」の朗読をしたほか、全員による献花が行われ、参加者それぞれが在りし日の太宰を偲んでいました。



記念碑に献花する津島園子さん



## ホームページが新しくなりました！

しばらく閉じていたホームページですが、この程一新した内容でご覧いただけるようになりました。支署の業務内容は勿論ですが、新鮮な情報を常時紹介することにしています。多くのアクセスをお待ちしております。お気づきのご意見もよろしく願います。メールアドレス：t\_kanagi@rinya.maff.go.jp